

笛吹市総合計画審議会委員委嘱式及び

第 1 回笛吹市総合計画審議会 議事報告

開催日時：令和 7 年 8 月 22 日（金） 午後 7 時 開会

開催場所：笛吹市役所本館 3 階 301 会議室

出席者：山下市長

向山委員、土橋委員、早川(芳)委員（代理出席）、古屋(公)委員、
古屋(亮)委員、珠島委員、霜村委員、立川委員、堀内委員、
早川(公)委員、角田委員、雨宮委員、竹内委員、荻野委員、
植村委員、風間委員、戸田委員、小林委員、水上委員、弦間委員、
宮川委員、今泉委員、新海委員

小澤総合政策部長、荻原政策課長、政策推進担当 河西主幹、
阿部副主幹、渡邊主査、

山梨総合研究所 佐藤調査研究部長、渡辺主任研究員

欠席者：大森委員、古屋(一)委員、相澤委員、佐川委員

傍聴人：なし

【進行：政策課長】

1 開会

2 委嘱状交付

3 委員紹介

4 事務局の職員紹介

5 会長及び副会長の選出

会長：古屋 亮 氏、副会長：新海 英記 氏

6 会長あいさつ

7 諮問

8 市長あいさつ

9 議事

(1) 第三次笛吹市総合計画の策定に関する基本方針及び今後のスケジュールについて【資料 1】

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、意見等はなく、原案のとおり進めることとなった。

(2) アンケート結果の速報版について【資料 2】

事務局(山梨総研)からの説明後、質疑応答を行った。

(霜村委員)

第二次笛吹市総合計画の評価検証を行うに当たり、今回のアンケート調査の結果がどのように影響してくるのか。

(山梨総研)

今回のアンケート調査は、現行計画の評価検証が行えるよう、それぞれ各施策等に対応するウェルビーイング指標を設定した。ただし、アンケート調査は市民の主観的な評価であるため、アンケート調査結果のみで、現行計画の評価検証を行うことはできない。今後、現行計画で掲げた目標値の達成状況や、市の担当部署の職員による自己評価などを踏まえて、現行計画の評価検証を進めていく。

(角田委員)

今回のアンケート調査は 18 歳以上の市民を対象としていたが、18 歳未満の子供たちの意見を聞くことも大事なことだと思う。何か考えはあるか。

(政策推進担当)

アンケートが良いのか、別の切り口が良いのか、その方法は要検討であるが、今の御意見を踏まえて、18 歳未満の子供たちの声をどう拾っていくかという点を考えていきたい。

なお、市では、こども計画をはじめ、様々な個別計画を策定しており、それぞれ策定や見直しを行うタイミングで市民向けのアンケート調査などを実施している。そのような既存のアンケート調査の結果で使えるようなものがある場合は、それらの活用も考えたい。

(角田委員)

既存のアンケート調査の結果も大事だが、アンケートは、何が知りたいのかを考えた上で、一つ一つ丁寧に設問を考えていくことが重要であると思う。

いずれにせよ、子供たちの意見がしっかり拾えるよう取組を進めてほしい。

(堀内委員)

市内には、様々な分野で市民活動などを頑張っている団体がたくさんある。総合計画の策定を進める上で、そういった団体の声を聴くことも大切であると思う。

(政策推進担当)

いただいた御意見を踏まえて検討する。

審議会に参加されている皆様も、関係団体の代表者であり、地域で活動されている方もいるので、このような場で御意見をいただくことも、団体の声を聴くことにつながっていると考えます。

(今泉委員)

地域で活動している団体の声を拾ってくれるというのは非常にありがたい。

例えば、次回の審議会で見聞を聞くということであれば、それまでに団体内の意見を集約しておくことも可能である。

(政策推進担当)

10 月には現行計画の評価検証、11 月には基本構想の素案をお示しできるよう進めており、そこから逆算するとスケジュールはかなりタイトである。

今いただいた団体内での意見集約という御意見やスケジュールとの兼ね合いも含めて、どのような形で進めるのが良いのか内部で検討し、改めてお示しする。

10 その他

(1) 第 2 回審議会の日程について

11 閉会

午後 8 時 40 分 閉会